

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドの受益証券へ投資を行うことで、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目標にアクティブ運用を行います。	
主要投資対象	コモンズ30ファンド	コモンズ30 マザーファンドの受益証券ならびに国内外の株式等を主要投資対象とします。
	コモンズ30マザーファンド	国内外の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
投資制限	コモンズ30ファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	コモンズ30マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。 当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書

# コモンズ30ファンド


第2期（決算日：2011年1月18日）

### ◆受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

「コモンズ30ファンド」は、平成23年1月18日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

  
commons コモンズ投信株式会社  
asset management, inc.

東京都千代田区平河町二丁目4番5号 平河町Kビル5階  
<http://www.common30.jp/>

### ◆お問合せ先

コールセンター：TEL. 03-3221-8730

受付時間 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

皆さまのおかげを持ちまして、「コモンズ30ファンド」の2回目の決算を迎えることが出来ました。これも、ひとえに皆さまのご支援ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

わが国の資本市場に不足している長期資本を、皆さまの長期的な資産形成ニーズにこたえていくことで調達し、長期的な企業価値の向上に取り組む日本の有力な企業に供給していくことが少しずつ実現し始めています。

また、お客さまと投資先企業とが対話を行うセミナーを開催し、お客さまには金融商品の透明化（「見える化」）を、また、企業には新たな企業価値創造のヒントを提供することで両者から大変な好評をいただいております。

さらに、投信信託を通じて社会貢献を提案する場を設けるなど、コモンズのミッションでもある日本の金融サービスの多様化に少しばかり貢献が出来ていると考えています。

昨年は、新たなサービスといたしまして、6月に英国のチャイルドトラストをベースにした「こどもトラスト」の募集を始めました。政府の子ども手当に呼応した民間からのイノベーションとして注目を集めました。また、12月には信託報酬のうち、当社収益分の1%を寄付金としてNPO・社会起業家を支援するプログラム「コモンズSEEDCap（社会起業家支援プログラム）」もスタートいたしました（詳しくは12頁）。

皆さまからの暖かいご支援、ご声援のおかげで、この一年間で口座開設をいただいたお客さま数が倍増し、運用資産額も3倍となりました。経済、金融のコンディションが優れない中でのお客さまの持続的な増加は本当にうれしく思っております。2年を経過した「コモンズ30ファンド」の設定来の運用成績も30%を超えることが出来ていますが、これは、長期的な資産形成に取り組むお客さまに恵まれていることも大きな要因です。お客さまの75%の方々が積立てによるファンドの購入をされており、この比率は業界トップと言われています。運用会社にとりましては、じっくりと運用に取り組む環境を提供いただけることは、とてもありがたいことです。

こうした実績から、昨年末には投資信託の評価会社であるモーニングスター社が3000本のファンドの中から独自の定性・定量分析により選定した、“Funds50”（ファンズ50）の中にコモンズ30ファンドが選ばれました。

3期目を迎えるに当たり、より大きな成長を目指して各部門で再度、気を引き締めて新しいスタートを切りました。

今期も、皆さまからのご支援をエネルギーにコモンズはますます頑張っております。どうぞ、引き続きよろしく願い申し上げます！

コモンズ投信株式会社  
代表取締役

伊井 哲朗

## 目次

---

実績	● 設定以来の運用実績 .....	1
	● 当期中の基準価額と市況等の推移 .....	1
概況	● 当期の運用経過 .....	2
	● 収益分配金 .....	8
	● 今後の運用方針 .....	8
詳細	● 1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細 .....	9
	● 売買および取引の状況 .....	9
	● 親投資信託受益証券の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 .....	9
	● 主要な売買銘柄 .....	10
	● 利害関係人との取引状況等 .....	10
	● 組入資産の明細 .....	10
	● 投資信託財産の構成 .....	10
	● 資産、負債、元本および基準価額の状況 .....	11
	● 損益の状況 .....	11
	● お知らせ .....	11
	● 寄付についてのご報告 .....	12
ご参考	● コモンズ30 マザーファンド .....	13

●設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	参考指数 (TOPIX)	期 中 騰落率	株式組入 比 率	純資産 総 額
(設 定 日) 2009年1月19日	円 10,000	円 —	% —	817.73	% —	% —	百万円 118
1期 (2010年1月18日)	14,396	120	45.2	957.55	17.1	90.2	462
2期 (2011年1月18日)	13,398	130	△ 6.0	931.58	△ 2.7	95.9	986

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。以下、同じです。

●当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率	参考指数 (TOPIX)	騰落率	株式組入 比 率
(期 首) 2010年1月18日	円 14,396	% —	957.55	% —	% 90.2
1月末	13,638	△ 5.3	901.12	△ 5.9	91.2
2月末	13,412	△ 6.8	894.10	△ 6.6	84.7
3月末	14,496	0.7	978.81	2.2	85.3
4月末	14,334	△ 0.4	987.04	3.1	89.8
5月末	12,748	△11.4	880.46	△ 8.1	97.8
6月末	12,182	△15.4	841.42	△12.1	93.9
7月末	12,323	△14.4	849.50	△11.3	95.8
8月末	11,689	△18.8	804.67	△16.0	98.2
9月末	12,302	△14.5	829.51	△13.4	93.6
10月末	12,052	△16.3	810.91	△15.3	92.9
11月末	12,845	△10.8	860.94	△10.1	89.5
12月末	13,206	△ 8.3	898.80	△ 6.1	93.5
(期 末) 2011年1月18日	13,528	△ 6.0	931.58	△ 2.7	95.9

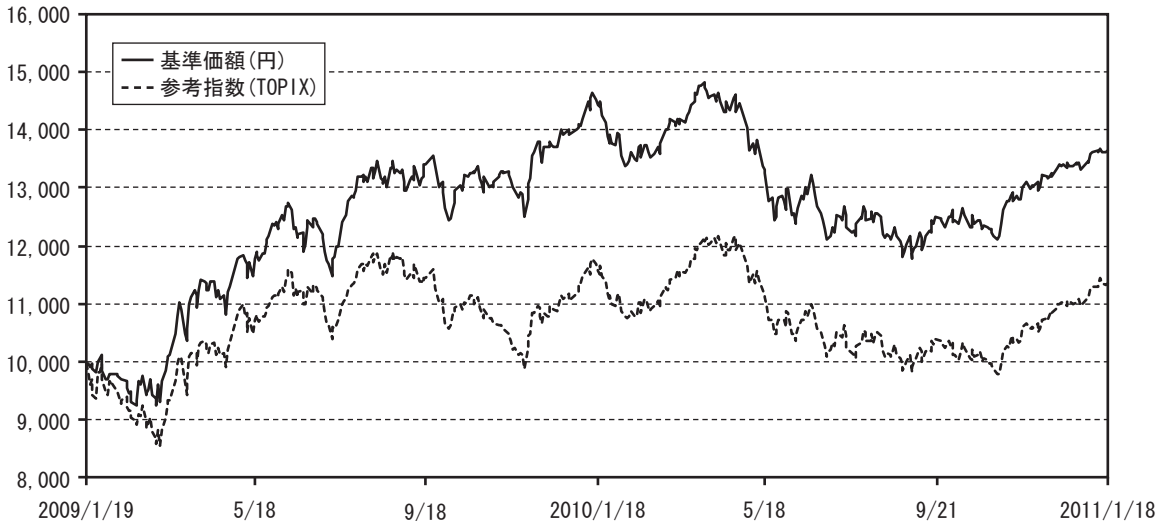
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

●当期の運用経過

■基準価額の推移

基準価額は期首に比べ6.0%の低下となりました。

基準価額の推移



※当期末基準価額については、分配金（税引前）込みです。

※基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算した価額です。

※コモンズ30ファンドが設定された2009/1/19～2011/1/18までの期間を示しています。

※TOPIX：東証株価指数（東証市場第一部に上場しているすべての日本株を対象とした、時価総額加重型の株価指数）

※参考指数（TOPIX）は、設定時を10,000として指数化した当社計算値です。

■基準価額の変動要因

国内株式市況を参考指数の東証株価指数（TOPIX）の推移で見ますと、期首に比べ2.7%の低下となりました。資産のほぼ全額をコモンズ30 マザーファンド受益証券（以下、マザーファンド）に投資したことにより、マザーファンドの基準価額変動の影響を大きく受けました。

因については、マザーファンドの項で説明します。

■組入比率

株式の実質組入比率につきましては、期を通じて基本的に85%から98%の間で推移いたしました。

■参考指数（TOPIX）との比較

当ファンドはベンチマークを設定しないファンドではありますが、参考指数としてTOPIXと比較しますと、今期（第2期）3.3%TOPIXを下回る結果となりました。詳細な基準価額の変動要

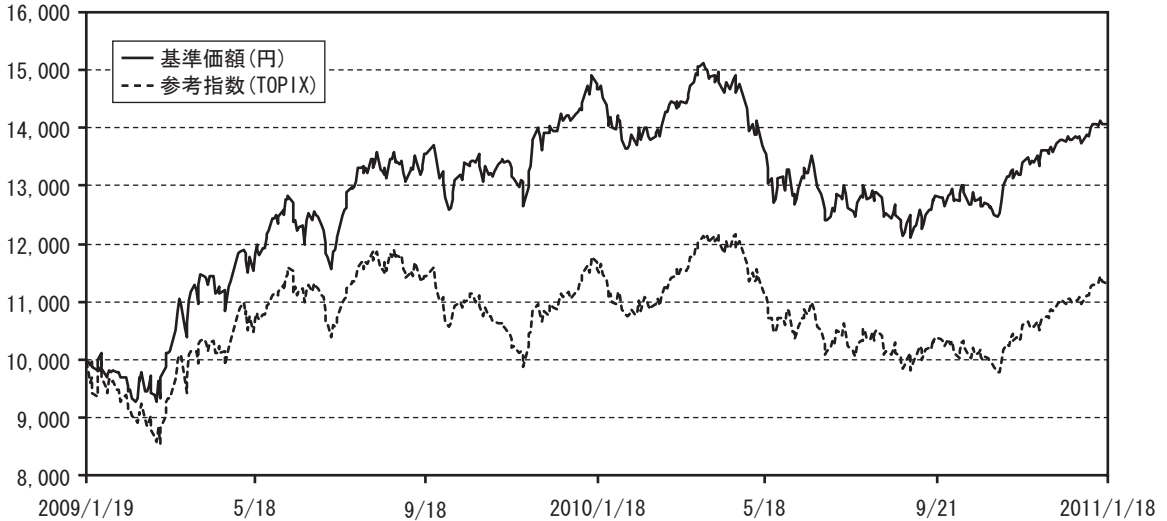
マザーファンドの運用経過は、以下の通りです。

## <コモンズ30 マザーファンド>

### ■基準価額の推移

基準価額は期首に比べ4.7%の低下となりました。

基準価額の推移



※コモンズ30ファンドが設定された2009/1/19～2011/1/18までの期間を示しています。

※TOPIX：東証株価指数(東証市場第一部に上場しているすべての日本株を対象とした、時価総額加重型の株価指数)

※参考指数 (TOPIX) は、設定時を10,000として指数化した当社計算値です。

### ■基準価額の変動要因

国内株式市況を参考指数の東証株価指数 (TOPIX) の推移で見ますと、期首に比べ2.7%の低下となりました。当期の外部環境及び投資先企業の概要は以下のとおりです。

### ◎市況 (外部環境)

この一年の世界経済を俯瞰すると、高成長を続ける一方インフレ抑制に取り組む新興国 vs 低成長でデフレに苦しむ先進国とのコントラストがより明確になった一年でした。欧米先進国が世界をけん引してきた時代すなわちG8時代から新興国を含めたG20への多極化を認

識した一年でもあります。こうした中、日本の株式市場は4月に日経平均株価で高値を付けたのち、円高などを背景に夏場には日経平均株価で9,000円を割り込むなど一進一退の動きとなりました。こうした円高、株安などもありましたが企業業績は、緩やかな回復を続けました。円高対応の経験も蓄積されていて、徹底した合理化や効率化で有力な日本企業の収益体質は筋肉質になっています。また、国内政局の混乱などに伴う閉塞感も漂う中、新興国の成長を取込める企業とそうでない企業との格差も鮮明となりました。

◎投資先企業

コモンズ30 マザーファンドの当期末における投資先は以下の31社です（証券コード順）。各企業について、投資理由を簡単にご紹介いたします。

銘柄	選択の視点
日揮 (1963)	<b>アジア・アフリカの未来を創る国境なき技術団</b> 世界約70カ国、2万件以上のプロジェクト実績。先んじて海外展開。オイルメジャー、新興国からの絶大な信頼で、世界のエネルギー需要に貢献します。また新興国の水処理等の環境事業へも参入し、更なる成長を目指します。
ローソン (2651)	<b>時代を超えて、生活者に便利を届ける</b> 栄枯盛衰が激しく、成熟した企業が稀有な小売業において、資本政策、ガバナンスを意識した質の高い経営を実践。人口減、高齢化等の環境変化に対応すべく、他の業態や海外展開を試行錯誤。収益性を意識しながら、持続的な成長を目指しています。
旭化成 (3407)	<b>伝統企業の事業転換</b> 化学繊維事業から医薬・エレクトロ事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っています。人工腎臓が世界2位、リチウムイオン電池セパレーターが世界1位です。
信越化学 (4063)	<b>戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性</b> 収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジー、双方で高いシェアを獲得しています。
エーザイ (4523)	<b>患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営</b> 世界的な競争力のある創薬メーカーであり、企業理念を定款にまで載せたり、役員選任理由を明確にした200ページに及ぶ株主総会招集通知を作るなどガバナンスの基本観がとてもしっかりして感動しました。
久光製薬 (4530)	<b>貼り薬で世界の人々を癒す</b> 患者や医師の声をよく聴き、主力製品モーラステープは発売後26回改良。継続的改善の文化。貼付剤は経口剤にない利便性や効用が認められ、鎮痛剤から他の治療薬に広がると考えています。
テルモ (4543)	<b>体温計（日常）から人工補助心臓（先端）まで、世界の医療を技術で支える</b> 北里柴三郎博士らが創業。患者、医療従事者に貢献したいという理念がDNA。日本のものづくりの強みを医療機器に活かし差異化。ディスプレイ（使い捨て）医療機器、心臓手術用カテーテル（血管）で高いシェアを誇る。海外展開（現在、売上高構成比45%）が成長の牽引要因。
第一三共 (4568)	<b>勇断により、ハイブリッドモデルを実現</b> 開発に強みを持つ三共と第一製薬の統合により誕生。インド最大のジェネリック製薬企業ランバクシーを買収。新薬、ジェネリック、ワクチン、大衆薬の4事業を組み合わせた新事業モデルで、先進国と新興国で成長を目指します。

コモンズ30ファンド

銘 柄	選 択 の 視 点
<p>楽天 (4755)</p>	<p><b>強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業</b> 社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っています。</p>
<p>資生堂 (4911)</p>	<p><b>銀座も、アジアも、美しく</b> 巨大市場の中国、アジアで認められた美の感性、アジア人の肌を知り尽くした技術、おもてなしの心（接客力）に強く惹かれました。</p>
<p>日本製鋼所 (5631)</p>	<p><b>脱火力発電（二酸化炭素削減）で欠かせない会社</b> 室蘭に世界最大のプレス機を保有し、世界で唯一継ぎ目のない原子力発電所の炉心部を生産することができます。世界では原子力発電所建設が多数予定されており、安定的な需要を享受できます。</p>
<p>森精機製作所 (6141)</p>	<p><b>世界の業界再編をリードし、工作機械業界トップを目指す</b> 新進気鋭な経営者のリーダーシップ、相対的に強固な財務体質、サービス体制の拡充や欧州企業の買収など次の飛躍に向けた対応策、工作機械業界のトップを目指す情熱を評価しています。</p>
<p>SMC (6273)</p>	<p><b>呼ばなくても来るサポート体制で、じりじりシェア拡大</b> 工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ。フェスト（独）との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向から、医療および食品関連でも成長。</p>
<p>小松製作所 (6301)</p>	<p><b>世界のインフラを作る日本のモノづくり力&amp;IT力</b> 多角化の失敗から学ぶ姿勢、キャタピラーに並ぶ競争力、それを支えるコマツウエイ（文化）、建設機械をインターネットに繋ぐ新しいビジネスモデルにぐっと来ました。</p>
<p>クボタ (6326)</p>	<p><b>日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与</b> 長期的に世界の食糧需要が増加します。世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持ち、特にアジアでの成長が期待されます。</p>
<p>ダイキン工業 (6367)</p>	<p><b>世界一、快適な空気をつくる</b> 世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、人を軸とした濃い企業文化が競争力の源泉であり、アフターケアとメンテナンスを絡めた総合力も抜群と考えました。</p>
<p>マキタ (6586)</p>	<p><b>環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる</b> リチウムイオン電池搭など、軽量・低振動で使用者の健康に配慮をした製品開発を行っています。そのため、利用時間が長いプロ向けで高いシェアを獲得。ものづくりだけでなく、保守メンテナンス体制も整備。先進国では、原則3日で対応可能な修理体制を構築。</p>



銘 柄	選 択 の 視 点
堀場製作所 (6856)	<p><b>「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大</b>                      創業者経営哲学「おもしろおかしく」を継承し、国際展開。自動車用から科学（研究）用、半導体用、現在の医療用まで、時代に応じて事業分野を拡大中。ニッチ市場で高いシェアを誇る。事業分散と地域分散を組み合わせたマトリックス経営。買収・提携も巧み。</p>
シスメックス (6869)	<p><b>起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1。成長するグローバルニッチのリーダー</b>                      神戸本社の当社は、新型インフルエンザ検出キットで有名に。血液検査機器では、国内1位、世界9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ。大学、研究所、病院を顧客に急発展。サステナブル企業として成長へ。</p>
日東電工 (6988)	<p><b>柔軟に変化し、持続成長。グローバルエリアニッチトップ</b>                      成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースにシートやフィルムに付加価値を加えた製品で、成長しています。それぞれの地域ごとに、品質や価格を調整し、シェアトップを獲得することを目指します。</p>
本田技研工業 (7267)	<p><b>夢と技術で、難局をチャンスに変える</b>                      お客さまに自動車のみならず、夢の詰まったモビリティ（移動体）を適正価格で提供。歴史的に難局に強く、創業から脈々と流れるチャレンジ精神で、持続可能な成長を遂げていく。</p>
マニー (7730)	<p><b>「世界一か否か会議」で、医師の信頼No.1</b>                      「世界一」に徹底的にこだわる粘り強い文化。社内会議「世界一か否か会議」で、継続的に改善を行います。微細なステンレス加工技術等により、手術針、歯科・眼科治療製品で高いシェアを獲得。世界120国以上で利用されています。クリントン元大統領の心臓手術でも使用されました。</p>
HOYA (7741)	<p><b>成長事業に集中し、光り続けるクリスタルクリアな会社</b>                      光学技術をベースに、起源であるクリスタルガラス製造からメガネ、コンタクト、カメラ、HDD用ガラスディスク、半導体関連製品、医療機器等へと常に時代に応じて事業ポートフォリオを調整。少数精鋭の経営陣と社外取締役によるガバナンスに魅力に感じました。</p>
ピジョン (7956)	<p><b>国境を越えた「愛」の会社</b>                      品質に厳しい日本で培った製品力（哺乳瓶関係シェア約8割と圧倒的）と、社は「愛を生むのは愛のみ」に支えられた社員の力による海外での大きな成長に期待。</p>
任天堂 (7974)	<p><b>イノベーションで、世界の人々を笑顔にする</b>                      業界の常識を超える発想で、成長を遂げてきました。成功体験に打ち勝ち、これからも、世界の人々に笑顔を届け続けることでしょう。</p>

銘 柄	選 択 の 視 点
東京エレクトロン (8035)	<p><b>創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社</b></p> <p>「医療や環境、新しい産業の未来を考えるとチップの将来は無限」と会長は確信。商社から出発したが、今や世界トップの半導体製造であるアプライドマテリアルの背中まで迫る。また、経営はクレドの心温まるメッセージでけん引。愚直で本質的な挑戦に未来を感じました。</p>
三菱商事 (8058)	<p><b>変化に強い組織力で、進化し続ける</b></p> <p>地球規模の視点で、事業（非金融）と投資（金融）を組み合わせるとい世界でも稀な事業モデルです。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向しています。引き続き世界経済の成長を享受すると考えます。</p>
ユニ・チャーム (8113)	<p><b>世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長</b></p> <p>これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。</p>
ケーズホールディングス (8282)	<p><b>「無理しない経営」で持続的成長を目指す</b></p> <p>短期的な成長を追求し過当競争が続く家電量販店業界において、持続可能な成長を目指しています。実力以上の出店や過度な値引き合戦は行いません。お客様とメーカー双方との関係を大切に経営。顧客に身近な郊外展開。</p>
商船三井 (9104)	<p><b>荒波に耐えて、好天に浮揚する</b></p> <p>不況のたびに強くなる経営力はお見事。自社保有、傭船、他社提携の組み合わせにより、需給の変動が激しい業界において、リスクを上手にコントロールしている。優れたガバナンスで意思決定も早く、また競合他社よりも健全な財務体質。</p>
ファーストリテイリング (9983)	<p><b>チャレンジ精神で世界の服と常識を覆す</b></p> <p>販売だけではなく、自ら製造も行う「製造小売業」です。日本発で世界の小売企業に挑戦しています。ファッション性の追及ではなく、ヒートテックに代表される「ベーシック+機能性」が世界の競合企業に勝っています。</p>

## ■参考指数（TOPIX）との比較

当ファンドはベンチマークを設定しないファンドではございますが、参考指数としてTOPIXと比較しますと、2.0%TOPIXを下回る結果となりました。設定来ではTOPIXを26.9%上回る結果となっておりますが、今期は前期の反動もあり、日本製鋼所、ピジョン、HOYAなどの下落が顕著でした。一方、コマツ、旭化成、日揮などは2けたの上昇となっており、ファンドのパフォーマンスに寄与いたしました。

## ●収益分配金

収益分配金につきましては、基準価額の水準および分配可能収益等を考慮し、130円といたしました。この分配金については、税金控除後に全額再投資いたします。収益分配金にあてなかった利益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。なお、収益分配金の計算過程につきましては、損益の状況の〈注記事項〉をご参照ください。

## ●今後の運用方針

### <コモンズ30ファンド>

コモンズ30マザーファンドの組入比率は運用の基本方針に従い、引き続き高水準を維持する方針です。

### <コモンズ30 マザーファンド>

2009年1月19日発足のコモンズ30ファンドは初年度の大幅値上がりのあと、2010年は通年で6.0%の基準価額の値下がりとなりました。この間、市場のインデックスは2.7%の下げとなり、当ファンドは、春先と年末に金融、不動産など幅広く物色された市場平均と比べて30銘柄への集中投資は若干のアンダーパフォームとなりました。しかしながら、ポートフォリオは企業の質〔企業価値〕を重視した銘柄で構成されており、とりわけ顕著だったことは、このポート

フォリオは下げに強く、上げにはそれなりについて行けるという特色が見えたことです。振り返ってみると、コモンズ投信が企業の見える価値（バランスシートなど）のほかに見えない価値（経営哲学、ガバナンス、CSR活動など）も重視してきた結果でしょうか。企業価値追求の姿勢を崩さないのがコモンズ30の姿勢です。

長期投資の目線を持つということは、多くのメリットがあります。会社自体が比較的長期の経営計画をもつということ、市場の価格変動の波を何回もかぶっても切り抜けられるということ、過去の失敗の経験を世代が変わってから生かすことができるということ、企業の成長とともに歩むことによって配当金や無償増資などの果実を得られるということ、など投資の成功確率は非常に高いです。また、ファンド自体のオペレーションは売買回転率が低いので、お客さまのコストも下がります。現在の組み入れ銘柄企業群は、1) 東南アジアへの進出が活発、2) 保有資金が豊富、3) 時代の変化（インターネット、為替変動、コスト競争など）に柔軟に対応できるなどの特色を持っています。

これからの第3期の運用にご期待ください。

運用責任者 吉野 永之助

● 1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	156円 ( 74) ( 75) ( 7)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	26 ( 26)
(c) 保 管 費 用 等	14
合 計	196

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

● 売買および取引の状況 (2010年1月19日～2011年1月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
コモンズ30マザーファンド	千口 431,855	千円 580,909	千口 43,994	千円 60,271

(注) 単位未満は切捨て。

● 親投資信託受益証券の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	コモンズ30マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,249,248千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	866,947千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.44

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

●主要な売買銘柄 (2010年1月19日～2011年1月18日)

コモンズ30 マザーファンドにおける株式の主な売買

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ユニ・チャーム	11.5	54,633	4,750	パナソニック	22	25,304	1,150
第一三共	32	54,115	1,691	ワークスアプリケーションズ	0.474	18,805	39,674
信越化学工業	11.7	48,718	4,163	トヨタ自動車	5	16,394	3,278
S M C	3.7	47,717	12,896	日本写真印刷	4.7	8,305	1,767
日東電工	12.8	42,991	3,358				
資生堂	23	41,699	1,813				
シスメックス	7.8	41,563	5,328				
マニー	12.9	41,265	3,198				
ファーストリテイリング	3.2	41,135	12,854				
ダイキン工業	13.4	40,538	3,025				

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●利害関係人との取引状況等 (2010年1月19日～2011年1月18日)

当期中における利害関係人との取引状況等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

●組入資産の明細  
親投資信託残高

	期首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
コモンズ30 マザーファンド	311,408	699,270	984,572

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末におけるコモンズ30 マザーファンド全体の口数は1,197,102千口です。

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

●投資信託財産の構成

2011年1月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コモンズ30 マザーファンド	984,572	98.5
コール・ローン等、その他	14,730	1.5
投資信託財産総額	999,302	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●資産、負債、元本および基準価額の状況

2011年1月18日現在

項目	当期末
(A) 資産	999,302,423円
コモンズ30 マザーファンド(評価額)	984,572,423
未収入金	14,730,000
(B) 負債	12,880,030
未払収益分配金	9,571,263
未払解約金	102,602
未払信託報酬	2,767,227
その他未払費用	438,938
(C) 純資産総額(A-B)	986,422,393
元本	736,251,050
次期繰越損益金	250,171,343
(D) 受益権総口数	736,251,050口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,398円

(注) 期首元本額 321,107,000円  
 期中追加設定元本額 444,811,045円  
 期中一部解約元本額 29,666,995円

●損益の状況

(2010年1月19日～2011年1月18日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4円
受取利息	4
(B) 有価証券売買損益	6,009,353
売却益	11,729,556
買入損	△ 5,720,203
(C) 信託報酬等	△ 9,415,869
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,406,512
(E) 前期繰越損益金	73,251,431
(F) 追加信託差損益金	189,897,687
(配当等相当額)	( 105,029,513)
(売買損益相当額)	( 84,868,174)
(G) 計(D+E+F)	259,742,606
(H) 収益分配金	△ 9,571,263
次期繰越損益金(G+H)	250,171,343
追加信託差損益金	189,897,687
(配当等相当額)	( 105,640,645)
(売買損益相当額)	( 84,257,042)
分配準備積立金	65,098,223
繰越損益金	△ 4,824,567

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,418,055円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(185,073,120円)および分配準備積立金(73,251,431円)より分配対象収益は259,742,606円(10,000口当たり3,527円)であり、うち9,571,263円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

●お知らせ

[分配金のお知らせ]

第 2 期	
1万口当たり分配金(税引前)	130円

◇お取り扱い分配金は、1月18日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。  
 ◇分配金は普通分配金に課税され、一律10%（所得税7%、地方税3%）となります。  
 ◇特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※本運用報告書作成時点においては、当期間に係る当ファンドの監査は終了しておりません。

## ●寄付についてのご報告

### ■第1回「コモンズ SEEDCap（社会起業家育成支援プログラム）」がスタート

弊社は、長期資本を社会に循環させることを大切なミッションとし、また、当該ファンドの基本方針の一つとして、信託報酬の一部を社会貢献に活用することを表明しております。

昨年1月に初年度のファンド決算を終え、約1年をかけて寄付先の選定を進めるために社会起業家の方々をお招きしたセミナーなどを開催してきました。そして、皆さまからのご意見を伺ったうえで、昨年11月に寄付先選定委員会を経て、第1回「コモンズ SEEDCap（社会起業家育成支援プログラム）」の寄付先を世界の子どもを児童労働から守るNGO『ACE』に決定いたしました。なお、今回は2009年1月19日のファンド設定から2010年3月末までの当社の信託報酬分の約1%に相当する4万円が寄付金となります。

以下、ACE代表の岩附さんからのメッセージです。

### ～メッセージ～

今回ご支援をいただくことになりました、特定非営利活動法人ACE（エース）代表の岩附です。コモンズ投信の存在は兼ねてから存じ上げ共感していましたので今回このようなご縁をいただけたことでも嬉しく思います。

世界には2億1500万人（2010年ILO発表）もの子どもたちが児童労働についています。教育の機会を奪われ、心身の健康的な発達を妨げる子どもにとって有害な児童労働は、まさに子どもの権利を侵害しているといえます。学生時代にこの問題を知り、世界は、基礎的な教育という機会さえ、平等に与えられていないのだという事実気付いた時、当然のように教育を受けてきた自分の身を振り返り「私はこれまで与えられてきた機会を存分に活かしてきただろうか？」と自問自答しました。それから紆余曲折があったものの、13年間ACEの活動を続け、今はこれを仕事として全精力をつぎ込むことができるようになりました。

昨年ガーナで人身売買の被害にあった子どもが、私たちに打ち明けてくれた「いますぐここを抜けだしたい」という気持ちは、まさに世界で児童労働を強いられている子どもたちの気持ちだと思えます。絶望の中、自分がどんな可能性を持っているのかにも気付けないまま貴重な子ども時代を失ってしまう子どもたち。1人でも多くの子どもをその状況から助け出し、教育の機会を通じて自分の可能性を花開かせてほしいです。また地域住民が抱える貧困という問題とも向き合い、村ごとに児童労働をなくし、生活を向上出来るようインド・ガーナでの支援を続けていきます。日本でも、1人でも多くの方に児童労働の現実を知っていただき、アクションを取っていただけるよう働きかけていきます。チョコレート、コットンなどの原材料にある児童労働の問題は、実は私たちの生活ともつながっているからです。コモンズ投信株式会社そして投資家のみなさま、これからもぜひ、ともに児童労働のない未来を目指してステップを踏み出していきましょう！

特定非営利活動法人ACE代表 岩附由香

# コモンズ30 マザーファンド

＜第2期＞：2011年1月18日

計算期間：平成22年1月19日～平成23年1月18日

「コモンズ30 マザーファンド」は、1月18日に第2期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>①主として、国内外の取引所に上場（これに準ずるものを含まず。）している株式の中から、既述したような投資対象選定の基準に照らして優良と判断した企業に投資します。</p> <p>②ベンチマークは設けず30銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。</p> <p>③株式の組入比率は、市場環境に応じて、投資信託財産総額の30%以上を基本とします。</p> <p>④市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準になったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要運用対象	国内外の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
投資制限	<p>株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p>

## ●設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	参考指数 (TOPIX)	期中騰落率	株式組入 比率	純資産 総額
(設定日) 2009年1月19日	円 10,000	% —	817.73	% —	% —	百万円 118
1期(2010年1月18日)	14,775	47.8	957.55	17.1	90.6	530
2期(2011年1月18日)	14,080	△ 4.7	931.58	△ 2.7	96.1	1,685



●当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率		参考指数 (TOPIX)	騰落率		株式組入 比
			%			%	
(期 首) 2010年1月18日	円 14,775		% —	957.55		% —	% 90.6
1月末	14,001	△	5.2	901.12	△	5.9	91.2
2月末	13,785	△	6.7	894.10	△	6.6	84.6
3月末	14,919		1.0	978.81		2.2	85.1
4月末	14,765	△	0.1	987.04		3.1	89.7
5月末	13,155	△	11.0	880.46	△	8.1	97.6
6月末	12,587	△	14.8	841.42	△	12.1	93.6
7月末	12,755	△	13.7	849.50	△	11.3	95.7
8月末	12,113	△	18.0	804.67	△	16.0	98.0
9月末	12,754	△	13.7	829.51	△	13.4	93.3
10月末	12,506	△	15.4	810.91	△	15.3	92.8
11月末	13,345	△	9.7	860.94	△	10.1	89.4
12月末	13,736	△	7.0	898.80	△	6.1	93.2
(期 末) 2011年1月18日	14,080	△	4.7	931.58	△	2.7	96.1

(注) 騰落率は期首比です。

●当期の運用経過

P 3～8 をご参照ください。

●1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	28円 (28)
合 計	28

(注) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 円未満は四捨五入してあります。

●売買および取引の状況 (2010年1月19日～2011年1月18日)

株 式

	買	付		売	付	
		株 数	金 額		株 数	金 額
国内	千株	千円	千株	千円		
上 場	573	1,180,438	32	68,809		
	( 7 )	( ー )				

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

●株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,249,248千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	866,947千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.44

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

●主要な売買銘柄 (2010年1月19日～2011年1月18日)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ユニ・チャーム	11.5	54,633	4,750	パナソニック	22	25,304	1,150
第一三共	32	54,115	1,691	ワークスアプリケーションズ	0.474	18,805	39,674
信越化学工業	11.7	48,718	4,163	トヨタ自動車	5	16,394	3,278
SMC	3.7	47,717	12,896	日本写真印刷	4.7	8,305	1,767
日東電工	12.8	42,991	3,358				
資生堂	23	41,699	1,813				
シスメックス	7.8	41,563	5,328				
マニー	12.9	41,265	3,198				
ファーストリテイリング	3.2	41,135	12,854				
ダイキン工業	13.4	40,538	3,025				

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●利害関係人との取引状況等 (2010年1月19日～2011年1月18日)

当期中における利害関係人との取引状況等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

●組入資産の明細  
国内株式（上場株式）

銘柄	期首(前期末)	当期末	
		株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>建設業 (3.0%)</b>			
日揮	9	24	48,648
<b>化学 (16.5%)</b>			
旭化成	27	96	53,952
信越化学工業	—	11.7	56,335
資生堂	7	30	52,650
日東電工	—	12.8	52,416
ユニ・チャーム	—	16.5	51,975
<b>医薬品 (9.6%)</b>			
エーザイ	4.3	16.1	47,350
久光製薬	4.5	15.9	52,549
第一三共	—	32	56,064
<b>機械 (23.7%)</b>			
日本製鋼所	11	58	51,388
森精機製作所	14	46	44,344
SMC	—	3.7	53,243
小松製作所	11	26.5	66,488
クボタ	24	73	59,349
ダイキン工業	5.5	18.9	54,432
マキタ	5.6	15.5	54,017
<b>電気機器 (10.0%)</b>			
パナソニック	12	—	—
堀場製作所	6.3	18.6	42,984
シスメックス	3.6	11.4	61,446
東京エレクトロン	2.8	10.1	58,075
<b>輸送用機器 (3.0%)</b>			
トヨタ自動車	5	—	—
本田技研工業	4.5	14.5	48,140
<b>精密機器 (9.4%)</b>			
テルモ	3.6	11.9	53,371
マニー	1.3	15.5	47,895
HOYA	7	25	50,150

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株数	評価額	
	千株	千株	千円	
<b>その他製品 (5.7%)</b>				
日本写真印刷	3.2	—	—	
ビジョン	4	15.5	42,222	
任天堂	0.6	2.1	50,631	
<b>海運業 (3.1%)</b>				
商船三井	26	90	50,940	
<b>情報・通信業 (—%)</b>				
ワークスアプリケーションズ	0.23	—	—	
<b>卸売業 (3.8%)</b>				
三菱商事	10	26	62,192	
<b>小売業 (8.8%)</b>				
ローソン	2.8	11.9	48,076	
ケーズホールディングス	5.5	17.4	40,733	
ファーストリテイリング	0.9	4.1	53,013	
<b>サービス業 (3.4%)</b>				
楽天	0.17	0.76	54,568	
合計	株数・金額	222	771	1,619,639
	銘柄数<比率>	30	31	<96.1%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

●投資信託財産の構成

2011年1月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 1,619,639	% 93.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	120,395	6.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,740,034	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●資産、負債、元本および基準価額の状況

2011年1月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,740,034,956円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	119,995,761
株 式 (評価額)	1,619,639,600
未 収 配 当 金	399,400
未 収 利 息	195
(B) 負 債	54,516,534
未 払 金	38,816,534
未 払 解 約 金	15,700,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,685,518,422
元 本	1,197,102,987
次 期 繰 越 損 益 金	488,415,435
(D) 受 益 権 総 口 数	1,197,102,987口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	14,080円

(注) 期首元本額 359,170,341円

期中追加設定元本額 883,169,931円

期中一部解約元本額 45,237,285円

(注) 当マザーファンドの当期末元本額におけるペーパーファンド別内訳は、次の通りです。

コモンズ30ファンド 699,270,187円

コモンズ30ファンド (適格機関投資家用) 497,832,800円

●損益の状況

(2010年1月19日～2011年1月18日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	13,813,043円
受 取 配 当 金	13,753,010
受 取 利 息	60,033
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	27,050,019
売 買 益	87,941,022
売 買 損	△ 60,891,003
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	40,863,062
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	171,514,063
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	292,766,100
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 16,727,790
(G) 計 (C + D + E + F)	488,415,435
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	488,415,435

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



commons  
asset management, inc.